

## 【別紙】

### 1. アクエリアス小水力プロジェクトの概要

1. 地点	ブラジル国マトグロッセ・ド・スル州ソノラ自治区ルア・ダ・カーナ (Rua da Cana, Municipio Sonora, Mato Grosso do Sul, Brazil)	
2. 地点名	アクエリアス水力発電所	
3. 発電所の概要	発電方式	水力発電 (流れ込み式)
	出力	4,200kW (2,180kW×2機)
	工事工程	着工 2005年5月 運転開始 2006年9月19日
	売電先	エレクトロブラス株式会社 (Eletrobras S.A.、ブラジルの電力公社)
4. 所有者/オペレーター	アクエリアス・エネルジェティカ株式会社	
5. CDM タイプ (適用技術)	再生可能エネルギー (水力発電) (小規模 CDM)	
6. 予想排出権クレジット発生量	284,000 t-CO <sub>2</sub> (2006-2026年の21年分、13,436 t-CO <sub>2</sub> /年)	
7. プロジェクト概要	ブラジル国の卸電力事業者アクエリアス・エネルジェティカ株式会社が、同国マトグロッセ・ド・スル州ソノラ自治区ルア・ダ・カーナに建設・運営するアクエリアス水力発電所 (出力 4,200kW) で発電を行うことにより、温室効果ガスを排出する化石燃料発電所からの発生電力を代替するもの	

### 2. アクエリアス・エネルジェティカ株式会社について

1. 会社名	アクエリアス・エネルジェティカ株式会社 (Aquarius Energetica S.A.)
2. 会社所在地	ブラジル国マトグロッセ・ド・スル州ソノラ自治区ルア・ダ・カーナ
3. 事業内容	卸電気供給事業
4. 設立経緯	ブラジル国のサトウキビ・エタノール生産会社である、コンパニーア・アグリコーラ・ソノラ・エスタンシア (Companhia Agrícola Sonora Estancia) 株式会社の出資により本プロジェクトのために設立された。

### 3. Jパワーの関わるCDMプロジェクト

ホスト国 (実施国)		プロジェクト名	予想CO2削減量	プロジェクトの概要
チリ	①	ネスレ社グラネロス工場燃料転換	40万8200トン (21年間)	設備改修に伴う天然ガスの導入（石炭・石油燃料からの燃料転換）
	2	メトロガス・コージェネ	11万5302トン (10年間)	コージェネシステム導入によるエネルギー利用効率の向上
	3	メトロガス・パイプライン漏洩補修	15万8000トン (10年間)	設備補修によるエネルギー利用効率の向上
コロンビア	4	ブエルタ&ヘラドラ水力発電	155万9984トン (21年間)	再生可能エネルギーの利用
	5	エル・エネケン・ランドフィルガス削減	119万トン (7年間)	ランドフィルガス燃焼による温室効果ガス削減
グアテマラ	6	キャンデラリア水力発電	50万5000トン (21年間)	再生可能エネルギーの利用 (小規模CDM)
アルゼンチン	7	アルアール社工場PFC削減	86万3221トン (10年間)	アルミ精錬工程改善によるPFC削減
ブラジル	⑧	アクエリアス水力発電	28万4000トン (21年間)	再生可能エネルギーの利用 (小規模CDM)
	⑨	カイエイラス ランドフィルガス削減	282万トン (7年間)	ランドフィルガス燃焼による温室効果ガス削減
メキシコ	10	ペトロテメックス社総合エネルギー効率向上	300万トン (10年間)	省エネ等によるエネルギー利用効率向上
	11	FIDEモーター更新プログラム	267万トン (21年間)	高効率モーターへの転換による省エネの推進
ペルー	12	アリコープ社・S d F社燃料転換	24.5万トン (10年間)	設備改修に伴う天然ガス導入

\* 日本政府から承認を得てCDM理事会に登録済のプロジェクトは、①グラネロス工場燃料転換プロジェクト、⑧アクエリアス水力発電プロジェクト（本件）、⑨カイエイラス ランドフィルガス削減プロジェクトの3件

2. メトロガス社コージェネ プロジェクトの方法論はCDM理事会の承認済み

\* 予想CO2削減量は、⑨は契約ベース、その他はPDDベースの数値を記載

以上